

桃園の三地蔵

三地蔵とは栄松寺(川方町)の石造地蔵菩薩立像、宝樹寺(牧町)の石造地蔵菩薩坐像、光明寺(新家町)の石造地蔵菩薩立像を言い、三体にはいずれも鎌倉時代末期の正和三年八月と刻まれている。

この三体のお地蔵様が作られた当時の桃園の三村は「物部神社」周辺の低地にあったことが判明しているが、その後たび重なる雲出川の水害により、三村は現在の高台に村ごと移住。その際、お地蔵様も新しい地に安置されたものと思われる。

お地蔵様の前に立つと、その表情の豊かさや、ふくらとした量感がよく分かる。



(栄松寺)

(宝樹寺)

(光明寺)

物部(ものべ)神社

式内社、古代この地方を支配した物部氏の一族新家氏の氏神であった。

しかし、1742年(寛保2)、雲出川の洪水に苦しむ新家集落は北の高台に集団移住した。このとき、旧地の守り神として残した。

山辺の行宮・一志頓宮説・山辺の御井伝承地として話題の多い神社である。



近畿日本鉄道ホームページ

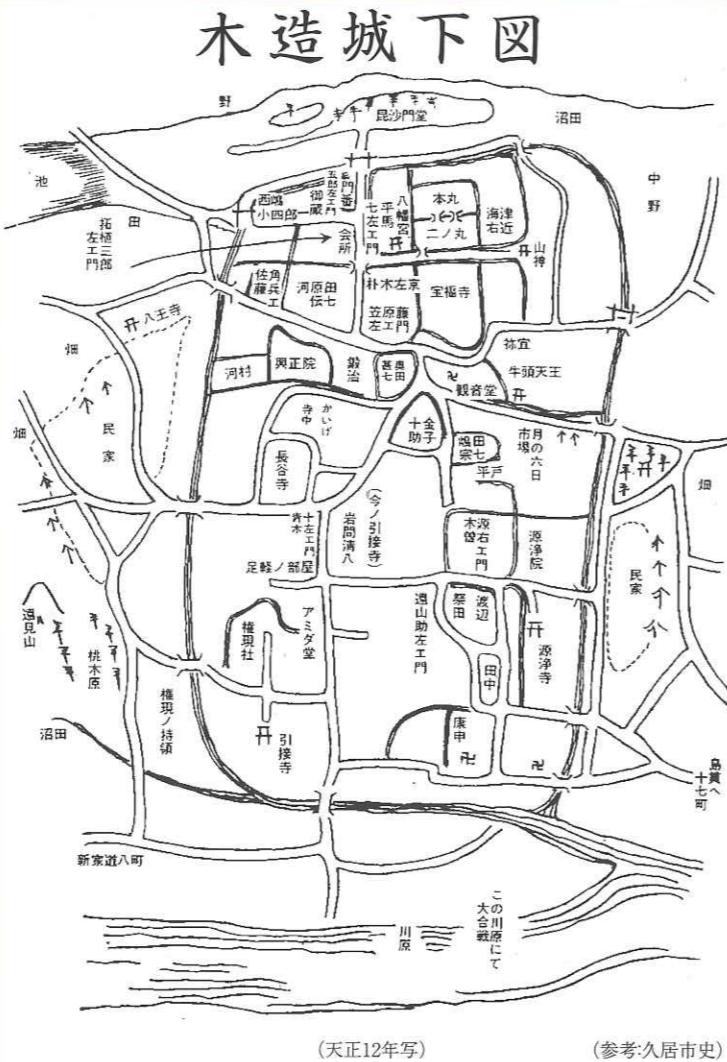


近鉄の時刻表はこちらから

桃園駅時刻表



発行 久居誕生350年事業実行委員会
(監修 久居城下案内人の会)
問合せ先 津市久居総合支所 地域振興課内
住所 〒514-1192 津市久居新町 3006番地
電話 059-255-8803 FAX 059-255-0960
令和2年 10月発行



(天正12年写)

(参考:久居市史)



桃園駅



木造氏の足跡と 久居桃園の 三地蔵めぐり

久居地域の名所・旧跡のガイドや 紙芝居を聞いてみませんか！

学校行事や地域行事など団体から個人まで
どなたでもガイドの依頼をお引き受けします。
お気軽にご相談ください。

紙芝居のタイトル（令和2年4月現在）

- ・藤堂高通と久居藩
- ・西嶋八兵衛と雲出井
- ・久居焼けと立て直し
- ・小戸木物語
- ・農学博士上野英三郎の水田づくり
- ・久居の鐘馗さん
- ・久居城下のまちづくり
- ・寛政の農民一揆
- ・国友の飛行機
- ・はちこう
- ・須ヶ瀬町郷土史
- ・新家の集団移転



乱世に生きた木造氏の系図

